

令和4年度「第5回全国安全指導員連絡会」報告書

令和5年2月4日(土) 13:00~15:30

令和4年度「第5回全国安全指導員連絡会」は、WEB(ZOOM)によるビデオ会議形式で開催された。昨年度までは、各都道府県の安全指導委員1名の代表者で連絡会が行われていたが、今年度は、より多くの指導者に参加していただくよう各都道府県5名まで参加できるように案内をし、連絡会を開催した。

(司会 熊野委員)

○開催挨拶(全日本柔道連盟 専務理事 中里 壮也)

中里専務理事より開催の挨拶があった。

2015年4月に福岡県で女子中学生が練習中に頭部打撲で、急性硬膜下血腫で亡くなるという痛ましい柔道事故が起きました。こうした柔道事故を二度と起こさない、柔道は危険なスポーツではなく、安全のためにやる、その域まで高めていく必要があると、これが私の持論であり原点です。どうか皆様も本日の講習会を有意義に生かしていただき、柔道の安全指導に取り組んでいただきたいと思います。

○会長挨拶(全日本柔道連盟 会長 山下 泰裕)

山下会長からのビデオメッセージの予定が、機材の不備から音声のみのメッセージとなり、下記のお話があった。

本連盟では重大事故の根絶、安全指導の徹底を推進して参りました。この連絡会もその取組のひとつとして毎年開催され、今回で5回目を迎え、重大事故の根絶に向けてさらに内容の充実を図りたいと考えています。コロナ禍で止まっていた社会活動も徐々に平常に戻り、各地域で柔道活動が活発になることは喜ばしいことですが、一方で、今年度後半から重大事故の報告が急増していることに危機感を強めています。5件の頭部打撲による急性硬膜下血腫の報告があり、そのうちの3件が重大事故となり、残念ながら1名が死亡に至っています。各連盟、競技団体におかれましては、こうした現状を鑑み、一層の事故防止及び安全指導の徹底をよろしくお願いします。

○開催趣旨(全日本柔道連盟 重大事故総合対策委員会 委員長 磯村 元信)

本日はコロナ禍が継続する中で、「第5回安全指導員連絡会」を昨年同様WEB会議で開催することとなりました。今回は各都道府県の関係者が多く参加していただき、ありがとうございます。本日の会議が充実したものとなるよう、ご協力をよろしくお願いします。

全国の都道府県柔道連盟の関係者及び安全指導員の皆様のご尽力により、近年、重大事故は減少傾向にありましたが、今年度に入って頭部打撲による急性硬膜下血腫が5件、その

うち重大事故、準重大事故が3件、残念ながら1名が死亡に至っています。練習や試合で頭部打撲による重大事故の発生する危険性が極めて高くなっています。この現状を踏まえ、一層の事故防止対策や啓発活動等の徹底をよろしくお願いします。コロナ禍が終息に向かうこれからが重大事故を防止する正念場ではないかと考えています。本日の連絡会が重大事故の根絶に向けた有意義な機会になることを期待しています。

1. 事故につながる危険な場面（重大事故総合対策委員会 委員 松永 大吾）

重大事故総合対策委員会、医科学委員会兼任の松永委員による動画解説がおこなわれた。本委員会では、審判委員会との連携・協力により、頭部、頸部の重大事故につながる危険のある場面を、実際の試合映像から抜き出し、事故防止及び審判規定や審判の在り方の改善に向けた参考資料の紹介をおこなった。特に、少年大会において少年規定で反則行為とされる文言と実際の試合判定の実態を映像で見比べ、少年柔道における危険な場面の解説もなされた。

2. 全国柔道事故被害者の会 講演（倉田 久子 様）

全国柔道被害者の会、代表の倉田久子様が講演されました。「柔道事故防止と事故対応一息子の事故が教えてくれたこと」を題材に、ご自身の体験を元に、事故の発生要因、柔道事故の未然防止、事故が起きた時の対応について話されました。参加者は倉田様の熱の入ったご講演を熱心に聞き入っていました。

3. 安全指導冊子【第6訂版】解説（重大事故総合対策委員会 委員 三戸 範之）

重大事故総合対策委員会の三戸委員より「柔道の安全指導」一柔道の未来のために一第6版の改訂についての説明がおこなわれた。医科学委員会との共同プロジェクトにより、第5版を修正・加筆した内容及び最新データの解説がなされた。

4. 指導者講演（島根県大田市立大田西中学校 濱岡 睦月 様）

「令和の指導者」に寄稿された濱岡睦月先生が講演されました。島根県大田市立大田西中学校の保健体育科の教諭として、柔道部の顧問として活躍をされています。今回の講演は、「保健体育、武道（柔道）の実践について」、「部活動での実践について」を題材に話してくださいました。保健体育の授業では、教材の活用、ゲストティーチャーや授業協力者の活用等を工夫して、安全で興味、関心を持つ生徒が増えるような取組を紹介。部活動では、ウォーミングアップの工夫、怪我防止の取り組みとして、受身練習、打込み、形練習等を紹介。

5. 委員会からの連絡事項（重大事故総合対策委員会 委員長 磯村 元信）

重大事故総合対策委員会の磯村委員長から「令和の指導者」「授業ガイドブック」の紹

介がなされた。

6. 閉会挨拶

最後に、重大事故総合対策委員会 磯村委員長より、閉会の挨拶があった。本日の講師に対してのお礼と参加した全国の指導者に対する「安全指導の継続と徹底」をお願いして閉会となった。

○「第5回全国安全指導者連絡会」アンケート

連絡会后、各都道府県へ「第5回全国安全指導者連絡会」のアンケート調査を実施。
27 都道府県より回答があった。

1. 参加者 27 都道府県 94 名

2. 感想について

- ・安全に気を付けることが何よりも大切だということが強く感じられた
- ・被害者の会 倉田様の講演を聴講できたことが、多変貴重な自身の体験となった
- ・怪我防止対策の強化と周知徹底の必要性を感じた
など、安全指導について肯定意見が多数

3. 質問について

- ・濱岡先生に対する質問があった
- ・資料や会議の録画の HP へアップ、危険な技の VTR の取り扱いについて

4. 要望や改善点

- ・連絡会の対面での実施
- ・連絡会の WEB での実施
- ・連絡会の開催日を早期に決定して都道府県に示達
- ・事前に講習会の資料配布
- ・連絡会の複数開催